

47 人形改造コンテスト

人形改造コンテストの原点である1/35ミリタリーミニチュアシリーズが50周年を迎えた2018年。記念すべき第1作の人形モデル『ドイツ戦車兵セット』の発売以来、はたしてどれくらいの人形達がこのコンテストで様々なキャラクターに“変身”を遂げてきたのでしょうか。

さて今回の金賞は、47年間コンテスト皆勤出品の佐藤邦彦さんの作品。応募された作品の梱包をほぐし、今年のテーマは動物…と思いきや、よく見ると!!審査員一同が息を飲んだこの作品は海外アーティストの“BODY ART”と呼ばれる芸術作品がモチーフ。人形改造の中でも観察力とデザイン力が問われる機体の造形に加え、いろいろなポーズの人間を何人も組み合わせ、最終的にボディペイントで動物に見せるといういくつかのハードルをクリアしての受賞です。銀賞の長内太郎さんの作品はアイヌの民族衣装の独特な質感表現とともに、限られたスペースの中で上手に空間を作り上げ、作品に一体感をもたせた台座のデザインセンスが評価のポイントです。そして銅賞を獲得した永島健司さんの『U.S.A.』は、2018年流行のフレーズと50年の歴史を刻む1/35MM兵隊人形という新旧の要素をセンスよく一つの作品に融合させたアイデアの勝利ともいっていいべき作品です。

平昌冬季五輪にサッカーロシアW杯、夏の甲子園は100回の記念大会と、スポーツのビッグイベントが目白押しだった2018年。永吉実朋さんはそんな中から大坂なおみ選手をチョイス。全米オープンテニス優勝の実力と、インタビュでのキュートな受け答えが人気の、2018年の顔の一人でしょう。そして日本各地を電動バイクで旅するテレビ番組の人気キャラクターを製作の近藤一義さん。お二人のそっくりさん改造が話題賞に選ばれました。MM賞は、1/35MMシリーズ第1作へのオマージュでしょうか、細部にわたり丁寧に作り込まれたドイツ戦車兵と、MM初の動物モデルとして親しまれている将校乗馬セットで参加の奥山 潔さん。そして背景に部分的に使われた戦車が兵士の心情を効果的に引き出している浮田直人さんの作品がそれぞれ受賞です。そして森尾しょうじろさんは世界情勢の鍵を握るキーマンをユニークに表現してアイデア賞を獲得。着想だけでなく、巨大なミサイルをグッと受け止める“逆三角形”の作品の強度保持も見事です。

1/35MMの人形は50年の間に技術的な進化を続けてきました。人形改造の面白さは今も昔も変わりません。腕や顔の向きを少し変えたり、小物を組み合わせるだけでもOK。最新の技術でモデル化された人形を使ってみなさんも気軽にコンテストに参加してください。

第47回 人形改造コンテスト 入賞者のひとこと

金賞 Body Painted Animals
Chameleon/Crocodile/Wolf/Mandrill/Frog/Angelfish/Parrots
Johannes Stoetter 氏のボディアートは「人体のみの組み合わせで（視点限定して）動物を表現する」凄く作品ばかり。それを立体化するとは真逆の行為となってしまう。「人形の合体は難しい」ことを数多く経験してきた挑戦でした。人形の合体工作は「仮組み」と「掘り合わせ」作業を繰り返す地道な作業。顔も動物の身体の一部となるので（苦手な）特定の人の顔に似せる必要がない、ということで塗装は今までになく大変しい作業となりました。台は、見てもらう方の視点を考えるとかなり斜めにする必要がありますが！

佐藤 邦彦 (72) 岩手

銀賞 狩をするアイヌの男(ニシバ)

長内 太郎 (43) 北海道

2018年は北海道150周年の年！「ゴールデンカムイ」の影響もあり、アイヌ民族への関心も高くなったように思います。この作品は実験的な試みとして、ベースを傾斜させ、奥が高くなることで白樺が少し遠くに見えるような視覚効果を目指しました。アイヌ民族の資料は札幌アイヌ文化交流センターで実物を直に触れる体験をしたことで、作品に生かすことができました。今年は地震もあり、製作時間が取れず、夏場の自転車レース&練習で製作をサポート？こともあり、完成できるか不安でしたが何とか形になりました(汗)

銅賞 U.S.A.

永島 健司 (54) 宮崎

私ごとですが、今年、地区の自治会長の仕事が終わりました。ウチの地区は10月に複数の行事があるため、今年に限っては早々に人改に着手して、9月中に余裕を持って完成させるつもりでした。しかし、夏を過ぎててもテーマが決まらない。あれこれ迷っている時間もない。何か早くできそうなネタはないか？そんな時「ゼネラルセット」の米軍将校たちを見て、DA PUMPの「いいねダンス」を思いつきました(笑)。深い意味はありません。笑えればいい。ユーア賞貰いたいつもりがまさかの銅賞。無敵の勝利って、いいね！

話題賞 充電させてもらえませんか？出川哲朗

近藤 一義 (56) 山口

「ヤバイよ、ヤバイよ」と言うことで、電動バイクで日本を縦断する出川哲朗さんが今回のネタです。以前からバイクと絡めた人改作品を作りたいと思っていたところに、この番組が放送されてこれはジュラルのにも面白い！と製作開始。バイクはプラバン、速乾エポキシパテ、真ちゅう線を使っているフルクラッチ。思った以上に時間がかかってしまい、締め切り間近というのにフィギュアは手つかず状態。それでもなんとかバイクに合わせたポーズを決め、数時間でフィギュアを塗って完成、発送することができました。

話題賞 大坂なおみ

永吉 実朋 (58) 鹿児島

今後大きな飛躍が期待されるアスリートの一人、テニスの大坂なおみ選手。近い将来、グランドスラムのタイトルを手にするだろうと言われていたましたが、早くも2018年9月の全米オープンで見事に優勝。いつかは人改で作ろうと思っていたのですが、早すぎる？栄冠に急ぎよ今回の題材とした。興奮冷めやらぬまま、彼女の渾身のガッツポーズを立体化することに決め、一気に作り上げました。髪の毛の表現はこれまで書道筆の毛先を使用していたのですが、今回は綿を使い、より細かい表情をつけることができたと思います。

アイデア賞 MISAIRU BOUEI SYSTEM

森尾 しょうじろう (46) 福岡

核ミサイル問題の行方は米大統領の外交手腕にかかっている、というイメージを作品にしました。製作については、トランプ大統領に太めの真ちゅう線を通し、この線が太い見た目のわりに軽くてできるミサイルに刺さっているだけの簡単な構造です。この線は台に深く埋め込められて、作品の安定性を確保しています。だいたふフォームを効かせたミサイルですが、ハグチョロ表現はちょっとやりやすかったです。トランプ大統領にぴったりの構図ですが、とある80年代のロボットアニメのバカリ&リズベクト作品でもあります。

MM賞 ドイツ将校/ドイツ戦車兵

奥山 潔 (52) 千葉

対象の2作品はともに新旧キットの人形の共演です。近年のデジタル技術が導入された人形の造形は申し分なく、ほとんど無改造です。往年の人形は素組の後長く放置していたものを、新作に触発されて再着手。キットのよさを活かし、顔や手帳、ポーズ、服のシワがより自然になるよう調整した軽めの改造です。その分、塗装に多くの気力を注ぎました。料理にたえるなら、素材の味を活かしつつ出し汁や醤油で味付けしたという感じでしょうか。MM50周年の記念の年にMM賞をいただき、自分にとっても記念の年になりました。

MM賞 Rest

浮田 直人 (59) 香川

故郷へ生きて帰ることを意識しはじめた大戦末期。車輛にもたれてタバコを吸い、リラックスしながらも銃を構え、警戒を怠っていない実写写真を再現したいと思い、作ってみました。目を引くのは大胆にカットした車輛ですが、この方法は海外のモデルーにとってはわりとポピュラーです。車体をカットして小さなビネットにまとめる方法に興味があった私にとってはピッタリの題材でした。こいう切り取り方の方がビネットが、もっと日本のモデルーの皆さんの間にも広がって欲しいという想いも込めて作りました。



Africa Korps officer Vol.2.3
木村 浩之 東京



SQUAD LEADER
飯島 宏文 長野



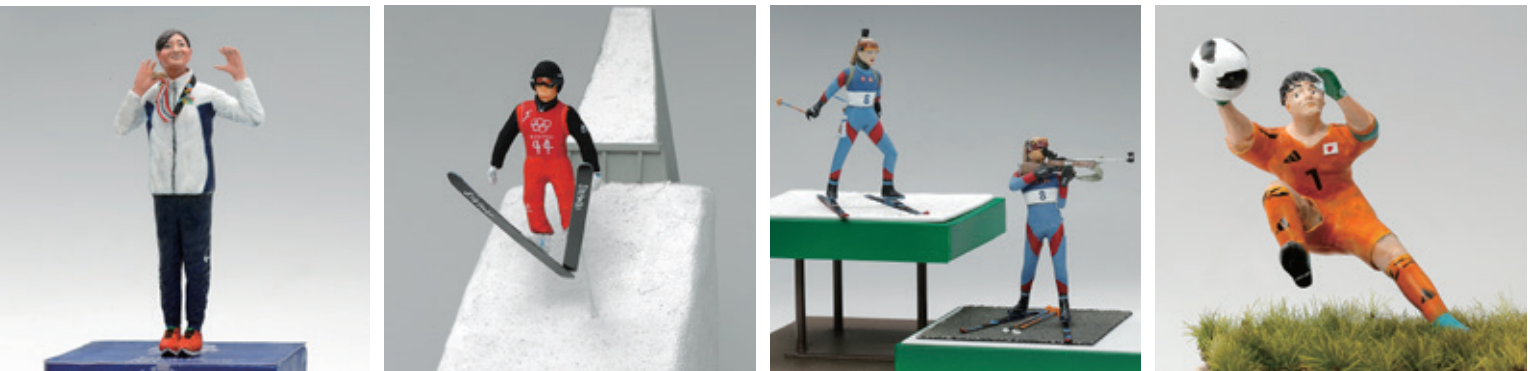
Cooking duty 故事当番
木村 浩之 東京



TANK CREW
上水 真一 北海道



MVP Ikee
丸野 吉明 宮崎



大ジャンプ (平昌)
村上 真 福岡



動から静へく返すバイアスロン
北条 安彦 京都



日本の守護神、川島
江田 光司 神奈川



高山の尽きる場所
飯橋 愛 三重



文豪ストレイリッドグス DEAD APPLE
和田 哲志 大阪



かえひろみ
安保 正美 埼玉



MMS50周年&ひよこり会長
紀前 健一 福岡



プーと大人になった僕
奥山 潔 千葉



こぐまのケーキ屋さん
関 宏明 千葉



白血球 U-1146
栗木 雅彦 愛知



ボートと生きてんじゃねーよ!
和田 哲志 大阪



LLENN
修理 秀隆 香川



めいとこねバス
村上 輝江 大阪



「アラートレッド」
山崎 健次 埼玉



春風
大前 泰則 大阪

JUMP ~仙台うみの杜水族館~
飯橋 栄次 静岡

映画いぬやしきより「大屋敷宅邸」
Anthony Obscura 東京

クレア先輩、ロックオン!
コウラ マサトシ 奈良